

く気はないんで、もうこれは会話の中で例えば一定の個数を出してそれが無くなってきたと。じゃ何ヶ月でなくなりましたね、と言えど何回使ったかわかる訳ですから。で、一定の基準量で25と50と言うのがある訳ですけど、これでもってどっちが効きがどうでした、と。例えば実はこれは処方  
のノウハウにかかると思うんですけど、日本では25ミリと50ミリと言うのが売っている訳です。そうするとこれを出す時はですね、25ミリと言うのは3個あげるんですね。最初に何でかという、25と言うのを1個飲んで、効くか効かないか試してみればいい訳でして、そして十分な硬さであれば25ミリじゃ3回使えます。で、不足であれば次に25ミリ二つ飲んでみればいい訳ですね。50ミリになります。それでどっちが良かったか、それで試していけばそんなにあわてることではないんですね。人生長いんで上手に使ってみればと言うことで、25ミリ。

で、これ文献的に言われているんですけど50ミリでも足りない人いるんですよ、体格の問題ありますから。尤もそれは本人の自己責任のもとに75ミリとか、まあそんなこともあってそこそここういう風なものは皆さんの量、何でも使いようですから、要望があれば非常にいい薬だと思っています。後で他にいろいろと開発中のようなんですけど、日本はあの外国から入ってくるものについて非常に関所が、関所って言うかガードが高いものですから、新しいものが出てくるにはちょっと時間がかかりそうと言う風に思っていますけど、私の処方した印象はあの今さっきと同じ15人から20人位なんですけど、非常にいい治療方法の一つだと思います。

けれども原因がどこにあるかということをよく弁えて、ご本人が十分わかって、なおかつパートナーもそれに対する理解がないと上手いかないんですね。これまた服用するに当たって微妙なノウハウもあるんですよ。酒飲んだらダメとか、腹いっぱいであんぐんだとだめだとか、タバコ吸っていると上手くないとか。そんなこともあるので、なんとかとハサミは使いようですから、こういう風な画期的な治療法ではあります。

まあ大体用意したものの説明はお話ししたかと思うのですが、なかなかこういう所でどうぞと言っても暗い所だと聞きやすいのでしょうけど、人のいる所でうんと聞いてみたいという方は人ごとのように何でもどうぞ、一応こっちは処方したノウハウがありますので、まあ自分は飲んだことないんですけど。聞いてみたいことありましたら何でもどうぞ。

(相談先：平岩三男先生 33-9388)

#### 会員の声：飛蚊症 羽賀 一夫

3月10日(日)ゴルフの帰りに右眼に突然異常を感じた。数百匹の羽虫が飛んでおり、髪の毛や蜘蛛の巣様の物も見えた。インターネットで調べたら飛蚊症と有った。何も悪い事をしていなくとも老人になるとかなりの人が成るらしい。次の日に可愛いとしみ眼科先生に診てもらったら網膜裂孔症で手当をしないと視力が落ちるとのこと。翌週燕労災病院でレーザー治療を受けて事なきを得た。しかし4月19日(金)に経過を診てもらったらもう1ヶ所出血が有るとのこと、又レーザー治療を受けなければならない。これが痛いのである。ゴルフのスコアが悪い時の言い訳材料なかなか無くならない。

4月30日例会：夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時

5月7日例会：環境保全月間 卓話 小林良範様

5月14日例会：卓話 小林 満会員・淵岡 茂会員

5月21日例会：地区協議会報告会

5月28日例会：卓話 小林幹扶会員・佐藤啓策会員

6月4日例会：家庭会合報告会

6月11日例会：クラブフォーラム

6月16日例会：(日)社会奉仕事業「五十嵐川～歴史と自然の道」



## 三条北ロータリークラブ週報

# 人類が 私たちの仕事

例会日  
2002. 4. 23  
累計 No 750  
当年 No 41

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五

ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木 宮 隆

幹事/山 中 正

SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30~13:30

例会場/三条ロイヤルホテル  
事務局/三条市西四日町3-15-34

☎34-8111 FAX34-8114

ヒューマン・ハーバー内

☎35-7160 FAX33-8972

メールアドレス [north@sanjo-nrc.org](mailto:north@sanjo-nrc.org) ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行事：卓話「EDって何だ？」平岩医院院長 平岩三雄様

出席：本日の出席 58名中 40名

先々週の出席率 58名中 48名 82.76% (前年同期89.66%)

先週のメークアップ：4月18日 加茂RCへ 山上茂夫さん

18日 燕RCへ 米山忠俊さん

20日 地区運営会議(新潟)出席 中條耕二さん

22日 三条南RCへ 中條耕二さん、青木省一さん、佐藤弘志さん

ゲスト：平岩医院院長 平岩三雄様

ビジター：三条南RCより 木原 崇さん

会長挨拶：木宮 隆



長引く不況は三条の花街にも深刻に影響しているようだ。先日も、あるスナックのママさんのボヤキを聞かされる羽目になった。お店がヒマだからこそんな話になるのだろうが、身の上話がいつの間にやら経営談義に発展し、気がつけば午前様になっていた。

お客が入らなければ、スナックであれ商店街のお店であれ商売になりわしない。若い美形を入れて、お色気で勝負するにしても、高級ホステスに見合うだけの売上が期待できるかと言えば、はなはだ疑問である。さりとて、やたらと料金を下げていたのでは、採算が合わない

だろう。仮に、連日お店を満員にする奇策があったとして、一軒のスナックの売上ではたかが知れている。

一生懸命努力して、お店を繁盛させるママさんは立派な経営者に違いない。お店を満員にする奇抜なアイデアは常連客に賞賛されるだろう。しかし、経営者と事業家とは決して同じではない。一軒のスナックを連日満員にする経営手腕を事業としてモデル化し、他の経営者に提供するのが事業家なのではないだろうか。スナックのフランチャイズなど聞いた事もないが、アイデアを事業モデ

ル化する知恵がこれからは重要となると思う。

21世紀はネットワーク型の社会と言われる。商品やシステムあるいは情報などを核とするビジネスモデルを開発し、ITを駆使して、個人としての消費者をネットワークする。そんな考え方が今問われているようではない。

幹事報告： 山中幹事

・ローターアクトクラブ地区行事実行委員長より

『心ひとつに』手話で歌おう、／「ストリートチルドレン」募金のお願い

・三条ローターアクトクラブより 五十嵐川クリーン参加の御礼

・ロータリー山の会より 守門岳山開きツアーのご案内 先着20名で〆切とします

期日 平成14年5月25日～26日

集合 長岡駅東口 宿泊 道院高原ロッジ

詳細、申し込みは事務局にご連絡ください

・次週30日は夜例会です。三条ロイヤルホテル午後7時点鐘

|           |                  |
|-----------|------------------|
| ニコニコボックス： | 23日現在累計 904,000円 |
|-----------|------------------|

木原崇君 本日はお世話になります。

大竹保男君 本日卓話の第1項目をぜひ聞きたいのですが、早退させていただきます。尚小林さんはとなりで「めじゃない」とつぶやいています。

中條耕二君 平岩先生に私の娘が助けていただきました。心から感謝しております。

早川龍雄君 平岩先生あれから4年の歳月が流れました。おかげ様で元気になりました。血尿が出たら即、平岩医院へ。経験者語る。

西村護君 BOXに協力、／

阿部勝子君 今日は暑いですね。このまま続かないと想いますが。ニコニコボックスに協力させて下さい。

久保博君

卓話： 「EDって何だ？」平岩医院院長 平岩三雄様



ご紹介頂きました平岩です。若輩ですけれども人生経験も皆さんの足元にも及ばないんですけれども、今日は学問として聞いて頂いて今後の生活の楽しさ、毎回病気病気ばかりですから、病気は置いて、昔ですね、EDと書いてあります。ありますけれども、インポテンツということで非常に差別的な用語であると、人をコンプレックスに追い込むと言うようなことで、国際的にはそういう言葉を使わないということで、最近は勃起不全ということでEDという言葉が、学問的には言われてきています。新聞広告などでアメリカのファイザーという会社がありまして、その会社がバイアグラというヤツを造ったのですね。非常に優秀な会社です。世界的な販売網もいいし、情報

巡りを減らすのを邪魔するので、血の巡りを多くさせる薬ではないということ。それからその気になってそこそこに勃起をするもとがあれば成立、勃起が成立したまま維持しておくと言う薬なんですね。ですからその気にさせる薬ではないということが問題なんじゃないかな。

そして後ですねこういう風な薬を私ら今度医者の方がですね、こういう薬を出す時に何を問題にするかという、さっきから言っていますように狭心症という病気がある訳です。狭心症、このバイアグラって言う薬はですね、あの実は心臓のさっき言ったように、心臓の血の巡りを増す狭心症の薬として当初開発された。それがしくじった、しくじったがけれども下のムクムクが上手くいくって言うことですから、狭心症の薬と二重にやると二重の効き方をすると。狭心症の薬を飲んでいて人だけはこれはダメですよ。でも一般の方は狭心症の薬が何であるか実はわからないんですね。狭心症の薬に類したものが商品だけで60種類位あります。そうしてみると、自分がどういう薬を、もし今とにかく薬を飲んでいて人は自分の内科の主治医に自分の病気がどうか、狭心症があってうんぬん狭心症と聞いてなくてもあまり医者の方が心臓の血の巡りを多くするという薬を出していることがありますから、自分の主治医に聞いてそういう薬があるかないか、まずその確認だけすれば、日本ではこの薬事故は起きた人はいません。まあそういうことで、もし分からないでそういう薬を自分が飲んでいて、そういう事件があったとすると、その血圧がストンと下がって具合が悪くなると。

それからもう一つはですね、逆のことがあるんですよ。こういう薬を使うことによって、あの心臓の方がまあ難儀い。そいでそれを狭心症の発作だと思って心臓がバクバクしたと。発作だと思って後でから狭心症の薬をやると、これはスパンと心臓が止まると。血圧が下がっておかしくなることがあります。そんなことがあるものですから、狭心症の薬・心臓の病気で医者にかかっている人は、まあとにかく自分の主治医に相談して、こういう風な薬を飲んだ方がいいかどうかということを知る訳です。自分の心臓の先生がじゃ自分はこういう風なバイアグラについて十分知識があって勉強もしているから、そういう相談があれば処方もできますよということであれば、それはそれでいい訳です。

で、泌尿器科の方は私ら、もしこういう薬を処方すると基本的にその方が心臓がどうか、あとは性交に耐えるかどうかと言うのは問題、他に問題があるか、例えばペニスが横ちょに向くかとかそういうような問題を確認してから投薬すればよろしいと言うのが基本的な考え方ですね、基本。あとは健康保険が使えないとか、月に、一応月に一回と言うのが原則なんですけど、それはその人の体力とそれから健康状態に応じて、まあ2ヶ月分位までは出しますでしょうかな。ただほんのこの4月から日本の制度変わって、実は薬を出すのに制限が無くなったんですね。で、かつては1ヶ月、3ヶ月、2週間ということいろんな薬は投薬はシバリがあったんですけど、バイアグラ当初出された時には実は良くこのようなシバリがあったもんですから、1ヶ月出すのが医療の原則だったんですけど、これからはもし安全であれば数ヶ月薬を出しても間違えじゃないだろうし、それが蘊奥的にされることではないと思っています。

けど、そういう訳で基準の30分になったのでまあ勃起するってなんだ。じゃそれを上手く要はこの今回出たもう1999年ですから3年経ちます。この薬は日本政府が入れたのはあくまで、夫婦がもしくはその固定したパートナーが仲良くできるという、極めて日本の古典的な考えを基にこの薬が導入された訳です。ですから日本の厚生省はおそらくあのハードルを高くするために、医療機関にかかって飲んだ方が無難だよ、と言うようなことを言っているのかもしれない。でもアメリカみたいにハードルがなくて出すと言うのも文化なんで、なんとも言いがたいと思います。

ちなみに私の所でこの手の薬は何人かな、15人からさっきお話しした20人位の方が1ヶ月、2ヶ月に一回いらして、でも最初だけですね。私らこういう薬を出す時に別に今月どうでしたなんて聞